

2019年3月期 第2四半期 決算説明会

2018年11月15日

アイエックス・ナレッジ株式会社

JASDAQ(9753)



2019年3月期 第2四半期 決算の概要

トピックス

2019年3月期 第2四半期

4月	新入社員77名入社 組織再編（製販一体制へ移行、オープンバージョン戦略事業部創設）
5月	RPAソリューション「WinActor」の取扱開始 セキュリティソリューション「AppGuard Enterprise」の取扱開始
6月	「WinActor」「メル訓クラウド」「i-Connection」「Zoom」の拡販向け APPS JAPAN2018出展
7月	自己株式 15,000株取得
8月	自己株式 135,000株取得
9月	ロボット&プログラム体験教室 上半期5回開催

市場環境と当社の取組み

市場・ユーザー環境

サービス強化やビジネスモデルの変革
を目的とした「攻めのIT」

↓ IT投資の拡大

IT利活用⇒クラウド、IoT
新技術⇒AI、ロボティクス

業務効率やコスト削減
を目的とした「守りのIT」

↓ IT投資の復調

基幹系システム、情報系システム
の開発や再構築

IKI VISION2020

①中核事業の拡大

②次期成長事業の創出

③事業基盤の強化

IKIの業績における影響要因

プラス要因

通信会社向けシステム
検証案件の拡大

大手SIハンダーからの
システム開発案件の拡大
(飲料メーカー、重工業メーカー向け等)

車載組込み案件の
拡大

マイナス要因

メガバンク向け次期シス
の収束

メガバンク向け次期シス
の代替案件受注に苦心

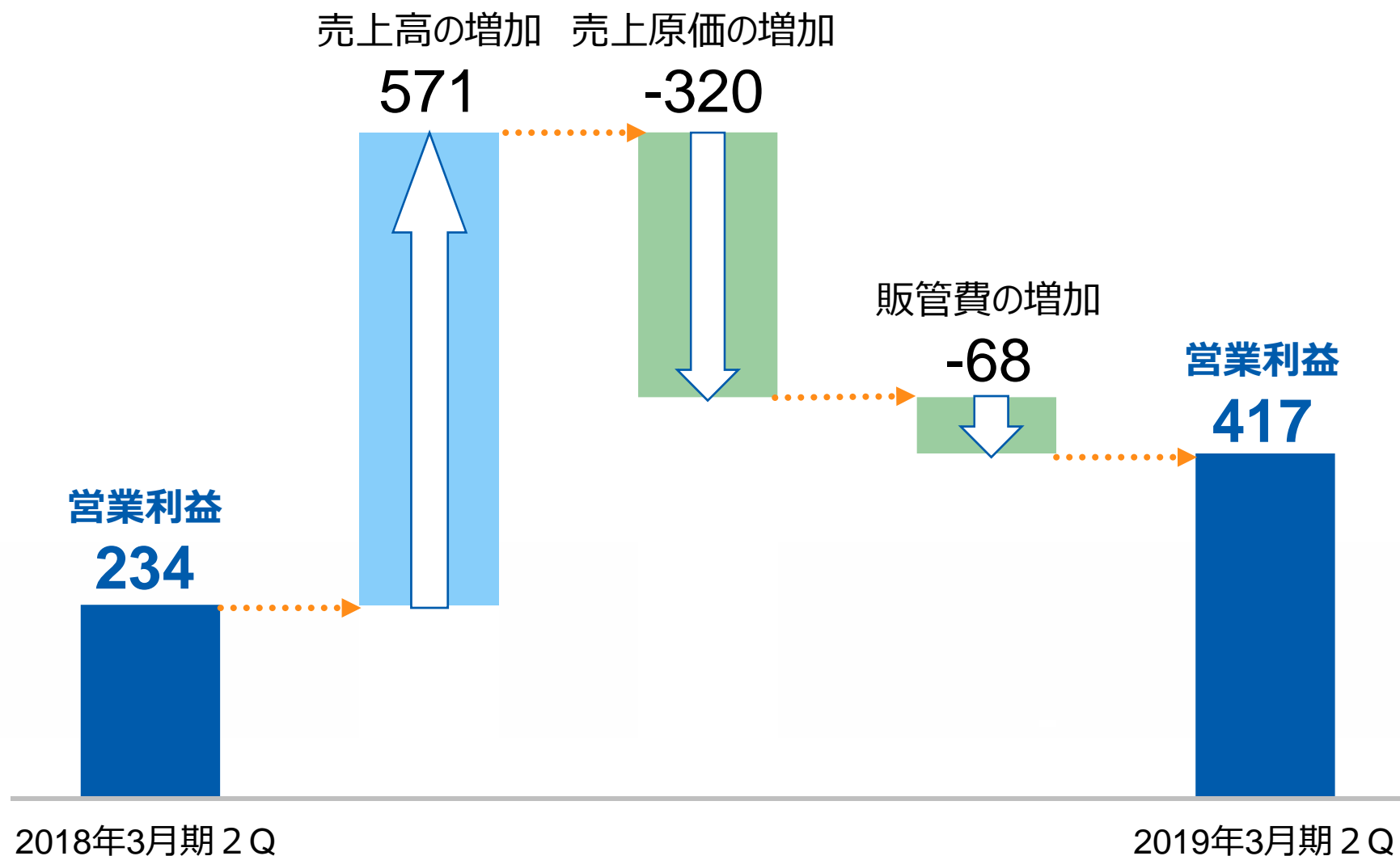
2019年3月期 第2四半期 経営成績

(単位：百万円)

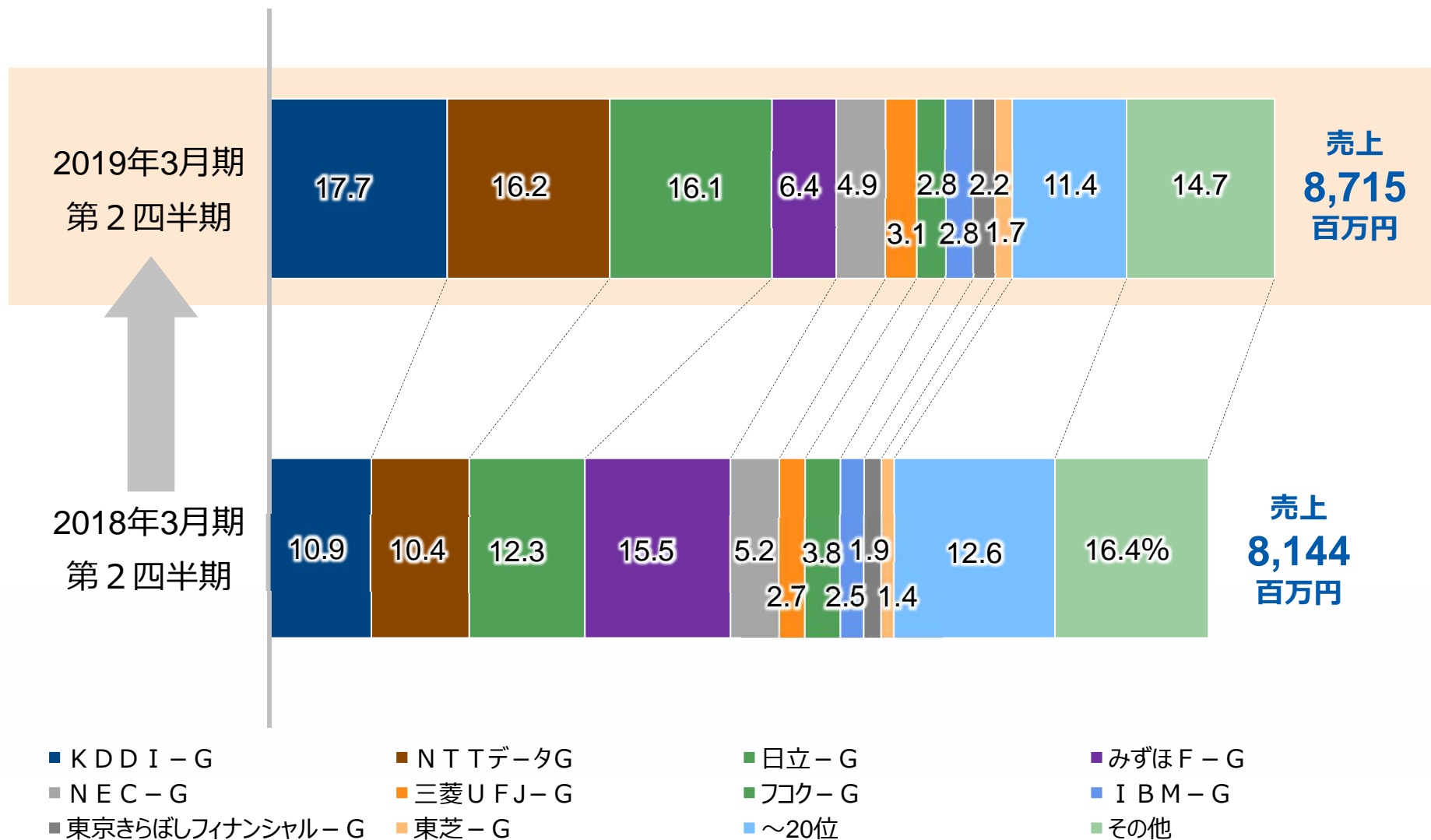
	2019/3月期 第2四半期	2018/3月期 第2四半期	増減額	増減率
売上高	8,715	8,144	571	7.0%
売上原価	7,150	6,829	320	4.7%
売上総利益	1,565	1,314	251	19.1%
売上総利益率	18.0%	16.2%	1.8P	—
販管費	1,148	1,080	68	6.3%
営業利益	417	234	183	78.3%
経常利益	442	264	177	67.2%
四半期純利益	299	177	122	69.2%

営業利益の変動要因

(単位：百万円)



顧客別売上構成

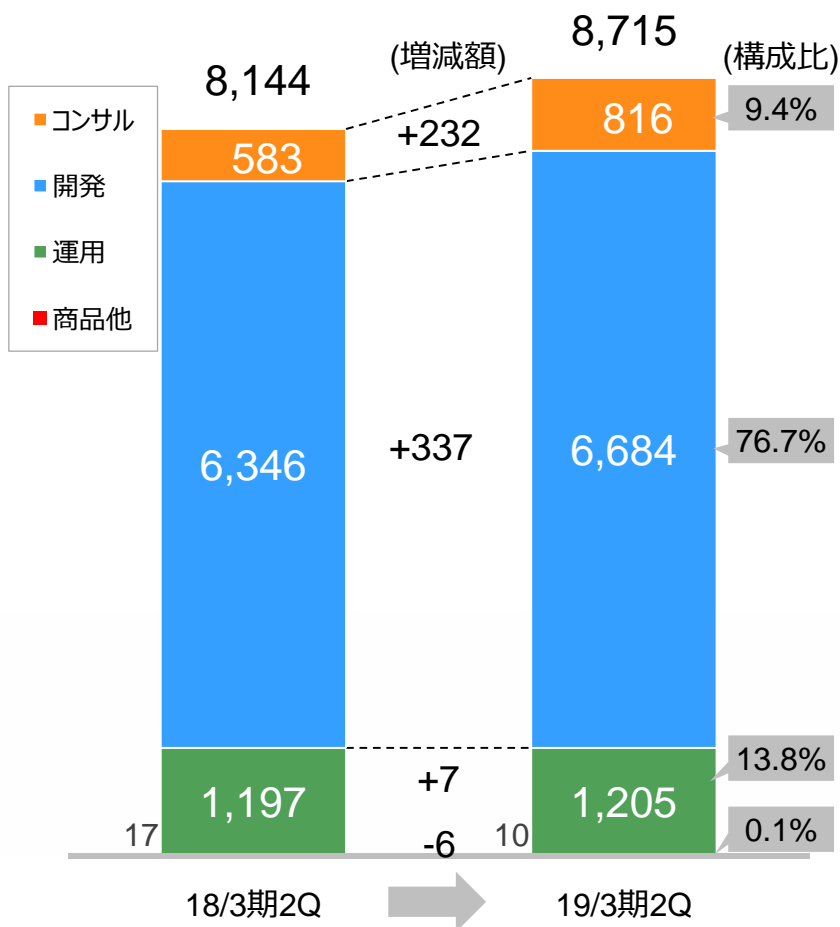


※グラフ中の数値は、売上全体に占める割合(%)を表しています

カテゴリ別売上構成

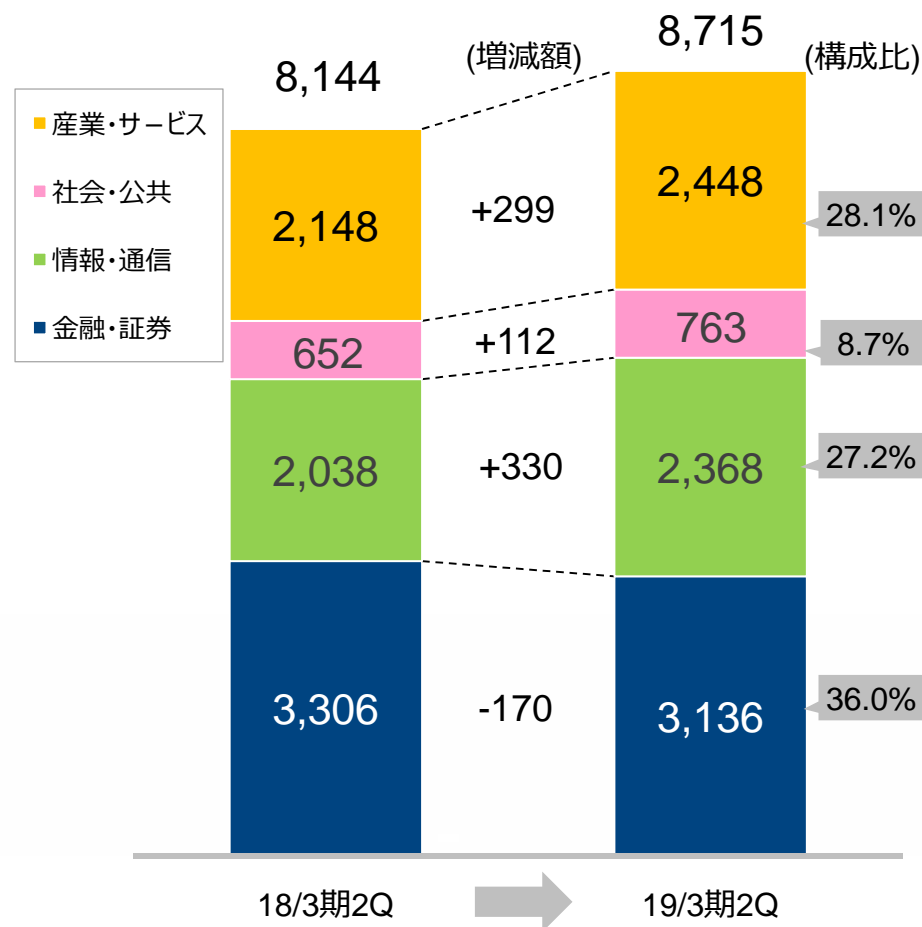
品目別

(単位：百万円)

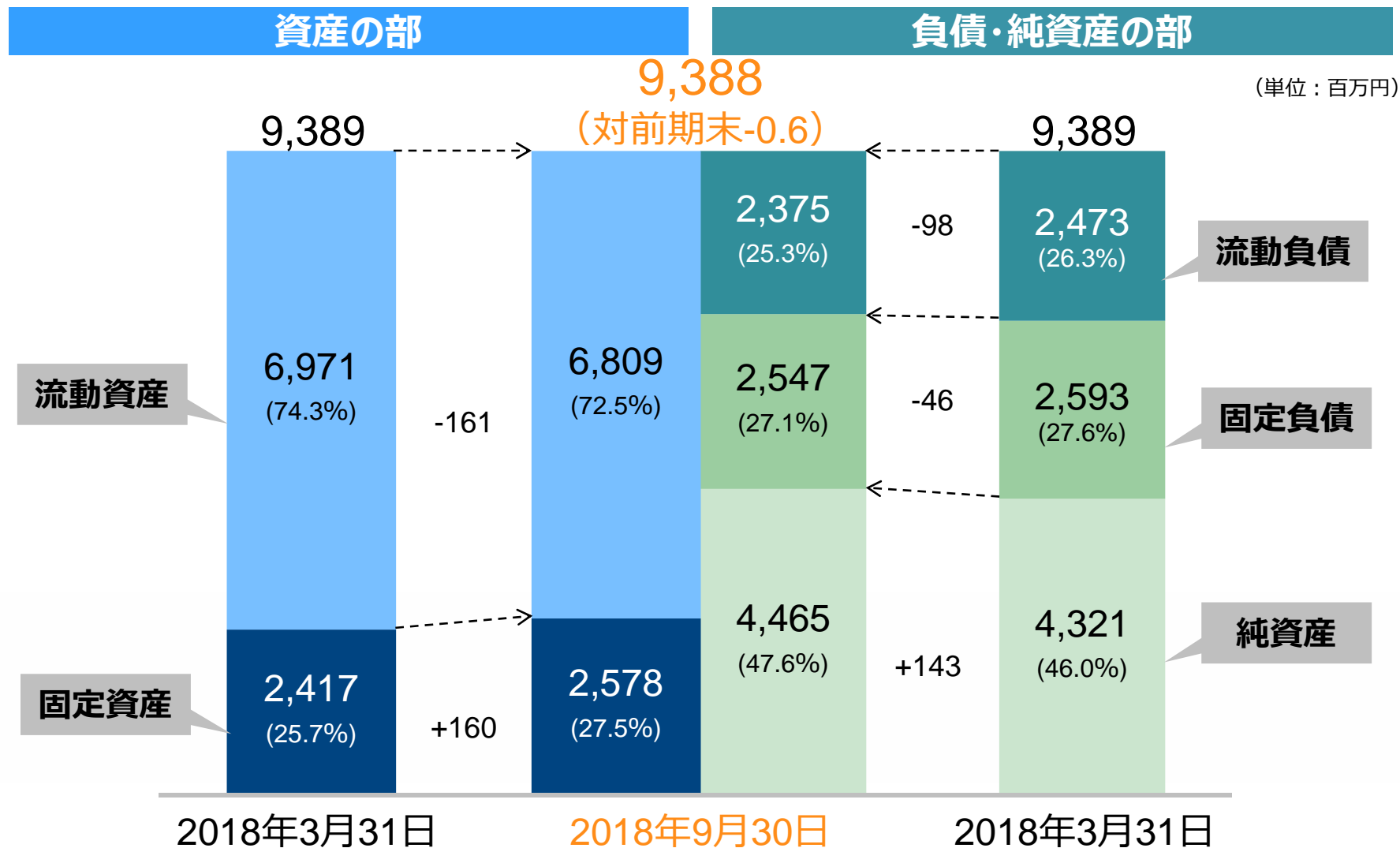


業種別

(単位：百万円)



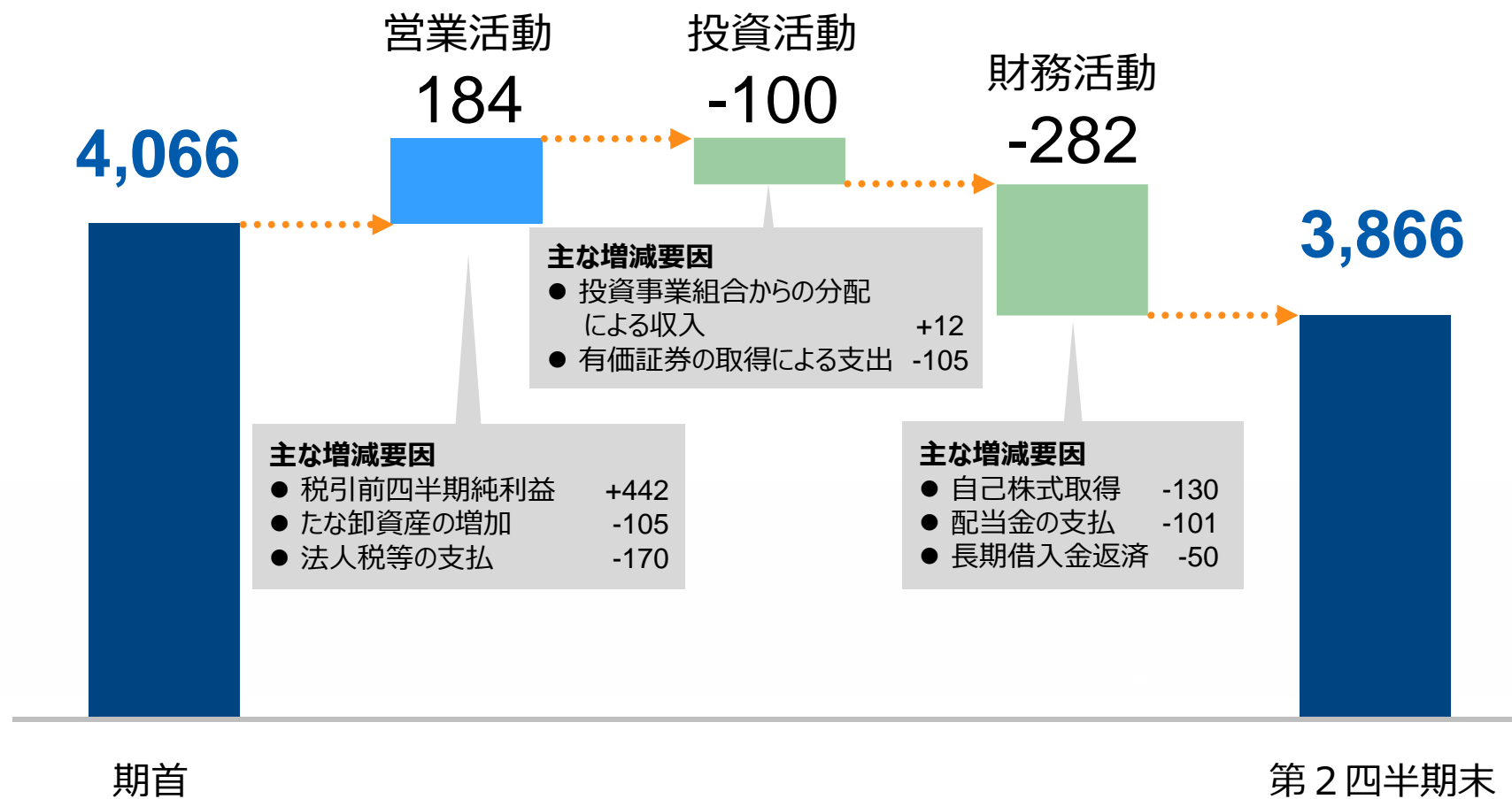
貸借対照表



キャッシュ・フロー

2018年4月1日～2018年9月30日

(単位：百万円)



2019年3月期 業績見通し

IKI VISION 2020

①中核事業の拡大

注力事業に経営資源を集中し、収益基盤としての中核事業を拡大する。

②次期成長事業の創出

「攻めのIT」分野など顧客ニーズに対応できる体制の構築、新技術への取り組みにより次期成長事業を創出する。

③事業基盤の強化

働き方改革の推進や高収益体質への変革を実現し、事業基盤の強化を図る。

- ・いきいきとした社員が
- ・高付加価値サービスを提供し
- ・お客様から高い信頼を得る

取組み状況①

①中核事業の拡大

業種別の当社市場環境と I K I の取組み

業種	環境	取組み状況
産業・サービス	→	<ul style="list-style-type: none"> ・車載組込開発の受注拡大に注力する。 ・飲料メーカー、重工業メーカー、化学工業メーカー等の各種システム開発案件が好調のため、注力する。
社会・公共	→	<ul style="list-style-type: none"> ・社会インフラ（電力、ガス等）向けのシステム開発・保守案件の受注に注力する。
情報・通信	→	<ul style="list-style-type: none"> ・大手通信会社向けシステム受入検証案件を継続する。
金融・証券	→	<ul style="list-style-type: none"> ・メガバンク向け次期シス開発は収束するものの、WEBサイト構築案件などに注力する。 ・資産運用会社向けシステム開発保守案件に注力する。

取組み状況②

②次期成長事業の創出

お客様との共創による付加価値向上

I K I
豊富な業務知識と
多種多様な技術



お客様
様々なニーズや要望
ビジネスモデルの変革
ビジネスノウハウ

I T 活用によるお客様のサービス・収益向上に貢献

取組み状況③

③事業基盤の強化

I K I の取組み

利益率向上施策の実施

- 業務改善による生産性向上に取り組む
- 事業の選択と集中

人材の確保・育成

- スキルマップの活用による人材育成（プロジェクトマネージャー、スペシャリスト）
- 人材ローテーション
- コアパートナーとの連携強化、新規パートナーの確保

働き方改革の推進

- 長時間残業削減を継続
- 仕事と家庭の両立支援
- 女性活躍の推進

新テーマ

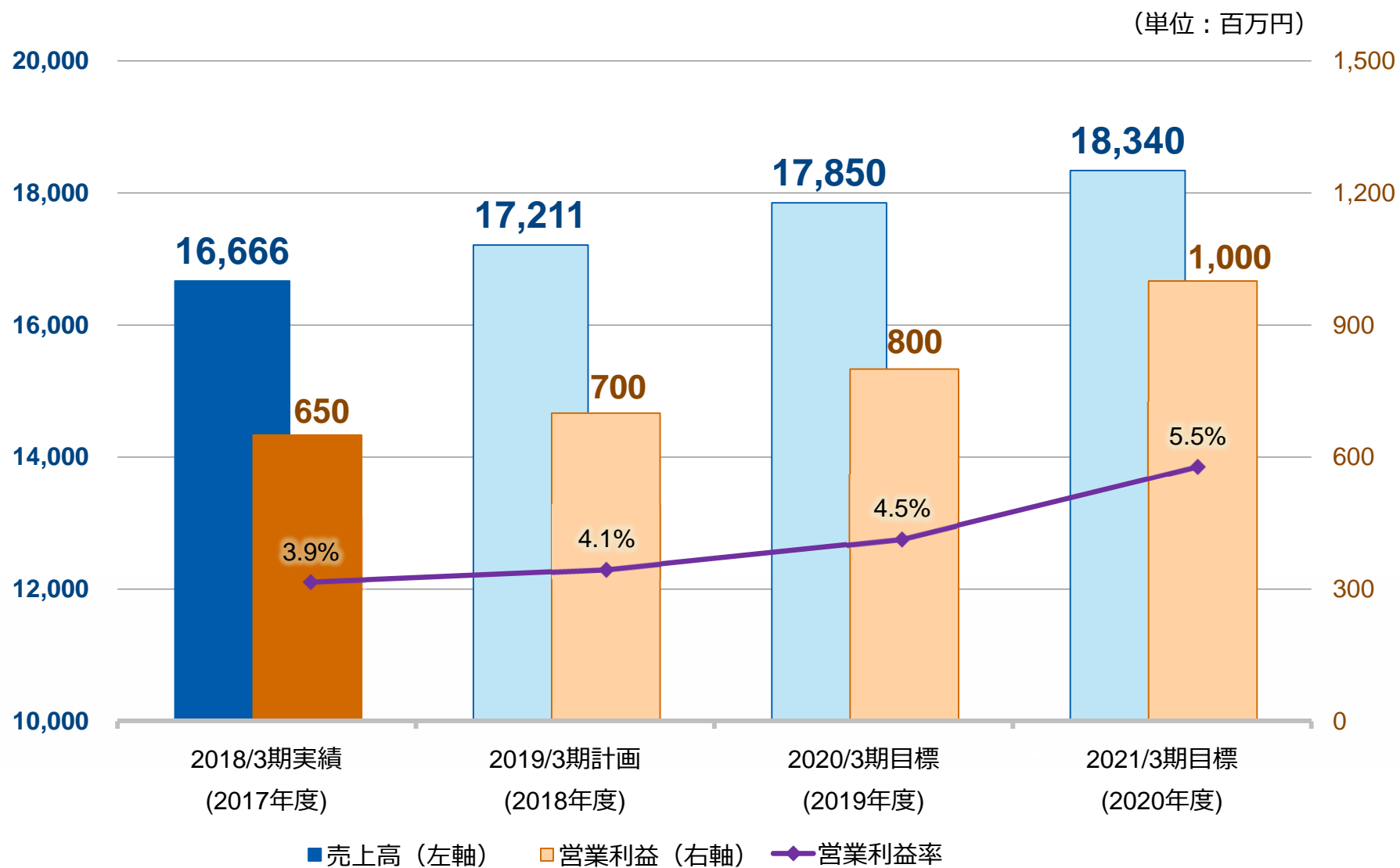
- 本則市場へ上場市場を変更することを目指す

2019年3月期 業績予想

(単位：百万円)

	2018年3月期 実績	2019年3月期 予想	差額	増減率
売上高	16,666	17,211	545	3.3%
売上原価	13,937	14,279	342	2.5%
売上総利益	2,729	2,931	202	7.4%
売上総利益率	16.4%	17.0%	0.7P	—
販管費	2,079	2,231	152	7.4%
営業利益	650	700	49	7.7%
経常利益	692	739	46	6.7%
当期純利益	465	486	21	4.6%
配当金	10円	10円	—	—

中期業績目標





IX Knowledge Inc.

当資料は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合がございますこと、予めご承知いただきますようお願い申し上げます。

お問合せ先
経営企画本部 経営管理部
電話 03-6400-7010
E-mail ir@ikic.co.jp
URL <https://www.ikic.co.jp>